〈NGO・外務省定期協議会 2023 年度第 3 回 ODA 政策協議会　議題案／質問状記入シート〉

1. 議題案名:
G7広島サミットにおける市民社会の活動報告と市民社会との継続的な協議の申し入れ

2. 議題の背景:
2023年のG7サミットは日本政府が議長国となり、5月19日から21日にかけて広島県広島市にて首脳会合が、前後の日程で閣僚会合が全国で開催された。公式エンゲージメントグループのひとつである「C7（Civil7）は、2022年5月に設立された「G7市民社会コアリション2023」が中心的役割を果たし、前年のドイツC7からの引き継ぎを経て、2023年1月より運営委員会（Steering Committee）および6つのワーキンググループ（Working Group）を設置し、さまざまな政策提言活動を行ってきた。

▼Civil7
https://civil7.org/2023
▼G7市民社会コアリション2023
https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/

4月13日・14日に東京都内でハイブリッド開催された「C7サミット」には国内外から200名が対面参加、オンラインでは300名が参加し、各ワーキンググループを中心に作成した政策提言書を発表した。C7サミットの前日、4月12日にはC7代表団10名が首相官邸を訪問し、岸田文雄内閣総理大臣にC7政策提言書を手交した。また、C7サミット開催直後の4月16日・17日には、広島市内にて「みんなの市民サミット2023」が開催され、首脳会合開催地の市民社会を中心に、G7サミットで議論されるべき課題や市民社会が重要だと考える課題について議論を行った。5月の首脳会合開催に際し、C7をはじめとするエンゲージメントグループは、広島市に設置された国際メディアセンター（IMC）や「NGOスペース」にて記者会見やブリーフィングを実施し、首脳コミュニケに対してC7政策提言書に基づき評価を行った。11月には、次の議長国となるイタリアの市民社会を中心に引き継ぎ会合を行い、また、12月には「G7市民社会コアリション2023」の総会を開催し、G7広島サミットに向けた活動を総括した。

これらの一連の活動、特にC7サミットの開催、首相官邸訪問および「NGOスペース」の設置に対して、外務省国際協力局民間援助連携室をはじめとする関係部署の協力や支援を得た。

3. 議題に関わる問題点（議題に上げたい理由）:
G7広島サミットにおける市民社会の活動を報告するとともに、2024年以降のG7サミットに向けた政府と市民社会の連携のあり方について議論を深めたいため。

4. 外務省への事前質問（論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係などがあれば）:

2024年のG7イタリアサミットについて、現時点で日本政府が把握している主要議題とそれに対する日本政府の考えを報告いただきたい。

5. 議題の論点（定期協議会の場で主張したいことや、外務省に聞きたいこと）:

1. 「G7市民社会コアリション2023」は2023年12月を以て活動を終了したが、幹事会および総会での議論の結果、2030年に向けた活動を引き継ぐ枠組みが提案されている。一連の活動を含めて本協議会開催時点での準備状況について報告したい。

2. 次回の日本開催となるG7サミットは2030年に予定されてる。2023年に進められたさまざまな連携を踏まえ、2030年のサミット開催に向けて、より一層エンゲージメントグループとの対話や連携をさらに強化するために、（毎年のG7サミットに係る情報共有や協議と合わせて）少なくとも年に1回はシェルパおよびエンゲージメントグループとの対話の機会を設けていただきたいと考えるがいかがか。

- 氏名：松原裕樹
- 役職：専務理事・事務局長（元共同代表、C7 2023運営委員）
- 所属団体：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター（「G7市民社会コアリション2023」）

以上

NGO・外務省定期協議会　2023年度第3回ODA政策協議会

Civil 7

G7広島サミットにおける市民社会の活動報告と市民社会との継続的な協議の申し入れ

2024年3月28日（木）

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 専務理事・事務局長
元 G7市民社会コアリション2023 共同代表・C7 2023 運営委員

松原 裕樹

０．議題の論点

G7広島サミットにおける市民社会の活動報告と市民社会との継続的な協議の申し入れ

論点（１）　「G7市民社会コアリション2023」は、2023年12月を以て活動を終了したが、幹事会および総会での議論の結果、2030年に向けた活動を引き継ぐ枠組みが提案されている。一連の活動を含めて本協議会開催時点での準備状況について報告したい。

論点（２）　次回の日本開催となるG7サミットは2030年に予定されてる。2023年に進められたさまざまな連携を踏まえ、2030年のサミット開催に向けて、より一層エンゲージメントグループとの対話や連携をさらに強化するために、（毎年のG7サミットに係る情報共有や協議と合わせて）少なくとも年に1回はシェルパおよびエンゲージメントグループとの対話の機会を設けていただきたいと考えるがいかがか。

1．G7のエンゲージメントグループとは

G7 ／Group of 7

首脳会合、閣僚会合、シェルパ会合、分野別作業部会

社会の様々な関係主体として、G7に対して、
エンゲージメントグループは
対話・政策提言・共同声明の発表などを行う。

新設

B7／Business 7
ビジネス

C7／Civil 7
市民社会

L7／Labour 7
労働組合

P7／Pride 7
LGBTQ＋・人権

S7／Science 7
科学

T7／Think 7
シンクタンク

W7／Women 7
女性

Y7／Youth 7
ユース

2．C7（Civil 7）とは

Civil 7

C7 2023 website
https://civil7.org/

●C7（Civil 7：市民社会）は、カナダ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、日本、アメリカの7カ国のみならず、G20諸国やグローバルサウス等の国々とも連携し、**G7サミットの開催国の市民社会組織がその年のC7の活動を牽引**している。

●2023年のG7広島サミットにおいては、2022年5月に国内のNPO・NGO等によって「**G7市民社会コアリション2023**」を立ち上げ、2023年4月28日時点で123団体・78名の会員から構成しC7を運営した。

3．G7市民社会コアリション2023とは

「G7市民社会コアリション2023」の組織概要

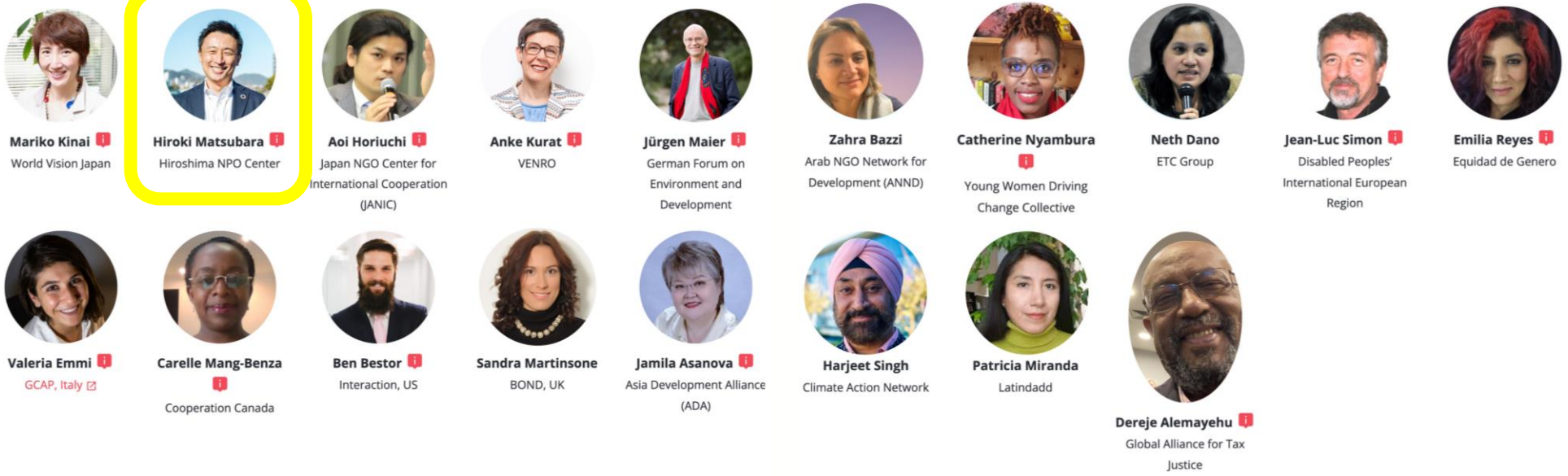
設 立 日	2022年5月10日（火）
設立目的	本会は、2023年に日本で開催されるG7サミット首脳会議および関連閣僚会合に、市民社会の声が反映され、2030アジェンダが掲げる「誰ひとりとり残さない社会」の実現に貢献できるよう、議長国である日本政府を含むG7各国政府に働きかけることを目的とする。
共同代表	木内真理子（特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長） 松原裕樹（特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 事務局長）
幹事団体	アジア太平洋資料センター（PARC）／SDGs 市民社会ネットワーク／「環境・持続社会」研究センター（JACSES）／環境パートナーシップ会議（EPC）／関西NGO協議会／国際協力NGOセンター（JANIC）／G Ⅱ /IDIに関する外務省/NGO定期懇談会／持続可能な開発に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS）／DPI日本会議／日本NPOセンター／PIECES／ピースボート／ワールド・ビジョン・ジャパン／ひろしまNPOセンター　計14団体
監　事	シャプラニール=市民による海外協力の会
会　員	団体会員（123団体）、個人会員（78名） ※2023年4月28日時点
共同事務局	国際協力NGOセンター、SDGs市民社会ネットワーク
Webサイト	https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/

G7 市民社会コアリション 2023

4．C7（Civil 7）の運営体制と対話活動

C7の活動としては、G7シェルパ（G7サミット担当外務審議官）との対話、ドイツC7からの引き継ぎ式、日本C7キックオフイベント等を行うと共に、2022年12月に18名（15か国）による運営委員会（Steering Committee）を設立した。

世界中の市民社会組織を代表するC7（Civil 7）の Steering Committee（運営委員）



5．C7（Civil 7）の政策提言「ワーキンググループの提言作成」

政策提言書を作成するための「核兵器廃絶」「気候・環境正義」「公正な経済への移行」「国際保健」「人道支援と紛争」「しなやかで開かれた社会」の6つのワーキンググループを構成し、72ヶ国（うち54か国はグローバルサウス）から700名以上が参加し議論した。

6つの社会課題テーマの政策提言書

- CLIMATE AND ENVIRONMENTAL JUSTICE
  気候・環境正義
- ECONOMIC JUSTICE AND TRANSFORMATION
  公正な経済への移行
- GLOBAL HEALTH
  国際保健
- HUMANITARIAN ASSISTANCE AND CONFLICT
  人道支援と紛争
- OPEN AND RESILIENT SOCIETIES
  しなやかで開かれた社会
- NUCLEAR DISARMAMENT
  核兵器廃絶

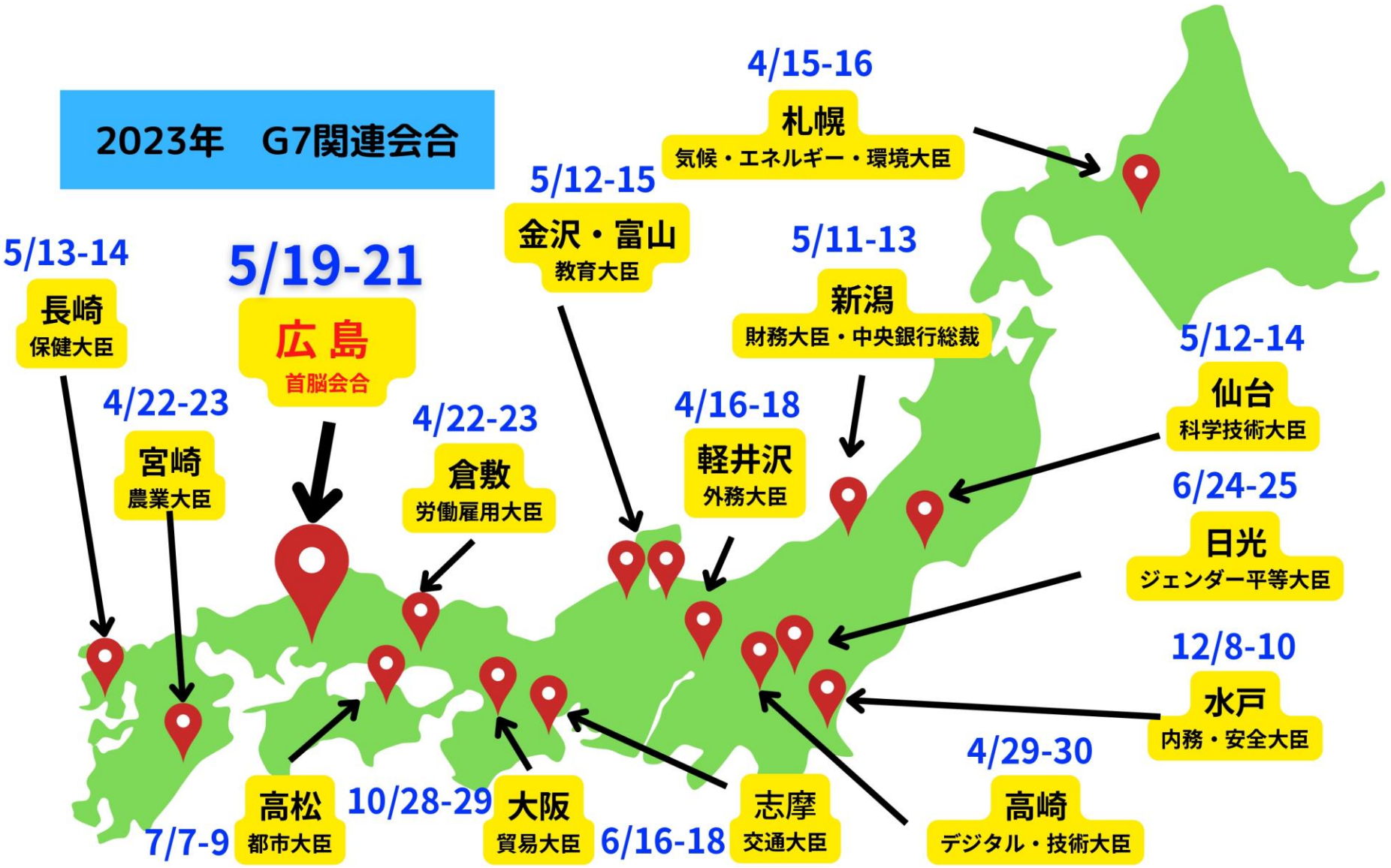
6．C7（Civil 7）の政策提言「岸田総理への手交」

2023年4月12日（水）に、C7を代表して日本及び各国の市民社会代表者10名が首相官邸を訪問し、G7広島サミットで議長を務める**岸田文雄内閣総理大臣と対話し、「C7 Communique 2023（C7コミュニケ2023：政策提言書）」を手交**した。

7．C7（Civil 7）活動「C7サミットの開催」

2023年4月13日（木）～14日（金）に東京プリンスホテル及びオンラインで「Civil 7 Summit 2023」を開催し、山田賢司外務副大臣へのC7政策提言書の手交、G7サブシェルパを務める中村和彦外務省経済局審議官との対話、分野別ワーキンググループ分科会、エンゲージメントグループの連携対話、レセプション等を実施した。

8．全国の閣僚会合の開催地・スケジュール

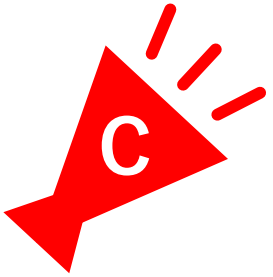


9．閣僚会合開催地の市民社会の活動

地　域	日　程	閣僚大臣会合	各地CSOの行事名
香川県高松市	2/22	都市大臣会合	学習会「C7勉強会～市民社会や地域の思いを提言につなげよう～」
宮崎県宮崎市	3/22	農業大臣会合	学習会「G7に問う グローバルな食料安全保障と健康で持続可能な『食と農』G7宮崎農業大臣会合に向けて」
大阪府大阪市	4/1	貿易大臣会合	学習会「分断が進む社会において、市民社会の役割とは」
北海道札幌市	4/15	気候・エネルギー・環境大臣会合	学習会「ここがヘンだよ、日本の脱炭素」
北海道札幌市	4/15,16	気候・エネルギー・環境大臣会合	G7アースデイ オープンフォーラム北海道
広島県広島市	4/16,17	首脳会合	みんなの市民サミット2023 ～G7広島サミットに市民の声を届ける～
岡山県岡山市	4/21	労働雇用大臣会合	G7倉敷労働雇用大臣会合開催連動企画「勝手に前夜祭」 ～「働く」に関する課題をもっと知ろう・考えよう～
新潟県新潟市	5/8	財務大臣・中央銀行総裁会合	新潟から「自分と地域と世界を大切にできるお金の使い方」を考える円卓会議
三重県津市	6/3	交通大臣会合	G7三重・伊勢志摩交通大臣会合応援事業「市民の交通サミット～すべての人の『移動の自由』が保証されるまちをつくる」
長崎県長崎市	5/12	保健大臣会合	長崎プラネタリーヘルス専門家会合「COP27およびCOP15からG7広島サミットへ：地球規模で生じている気候変動、環境、生物多様性と 人間の健康に関する課題解決に向けた新しいパートナーシップ」
大阪府大阪市	10/12	貿易大臣会合	「食料・農業の課題とわたしたち」貿易大臣会合に向けた勉強会・交流会
大阪府大阪市	10/28	貿易大臣会合	貿易大臣会合へ届けたい よりよい未来をつくるための市民社会からの提言

10. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

みんなの市民サミット2023



目　的

G7広島サミットへの対話・提言を通して、

「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会づくり」

を私たちの手で創る。

G7広島サミットを活かす３つの方針

- 市民にG7サミットや社会課題のことをわかりやすく伝える
- 広島の市民活動を活性化する・拡げる
- G7サミットに広島の市民社会からの提言を届ける

10. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

みんなの市民サミット2023実行委員会の体制

＜みんなの市民サミット2023の専用Webサイト＞

https://hiroshimacsummit2023.mystrikingly.com/

10. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

実行委員会の幹事団体

① 特定非営利活動法人ANT-Hiroshima／渡部朋子【共同代表】
② 特定非営利活動法人環境パートナーひろしま／河野宏樹
③ 特定非営利活動法人ひろしまジン大学／平尾順平
④ Social Book Cafeハチドリ舎／安彦恵里香
⑤ 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター／松原裕樹【共同代表】
⑥ 視覚障害者団体Blindクリエイター【お好みーズ】／金羽木百合枝【共同代表】
⑦ 広島G7芸術文化コンソーシアム／積山ミサ
⑧ 特定非営利活動法人市民活動センター西日本／胡田倫宏
⑨ RiverDo!基町川辺コンソーシアム／岡本泰志
⑩ 平和創造クラブ「ひまわり」／伊藤さえみ
⑪ 広島被爆者団体連絡会議／田中聰司
⑫ 核政策を知りたい広島若者有権者の会／高橋悠太
⑬ 特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会／小松豊明

10. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

2023年4月16日（日）～17日（月）に広島国際会議場で**「みんなの市民サミット2023」を開催**し、2日間で**延べ700名を超える国内外からの市民が参加**し、G7サミットや社会課題について立場や分野を横断した学びあいを行い、C7政策提言書の後押し（核廃絶に関する広島からの声）に繋がった。

10. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

市民サミットの開会内容

- C7サミットの活動報告
  ※日下部英紀 氏（外務省国際協力局 審議官）の登壇
- 高校生やアーティストによる発表
- 国内外のNPO/NGOや市民の交流
- みんなのこえ写
- 17テーマの分科会
  （核廃絶、気候変動、子育て、G7の方向性、ユース、紛争、SDGs、公共調達、格差、防災など）
- みんなの市民サミット2023共同宣言の発表

10. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

市民サミットの次第

プログラム　Program

Day1　4月16日（日）

10:30～12:30　オープニングセッション　／　会場：フェニックスホール
※オンライン配信（zoom）・日英通訳・手話通訳・予約筆記あり

開会宣言
みんなの市民サミット 2023 実行委員会　共同代表

オープニングセレモニー
シンガーソングライター　　HIPPY

来賓挨拶
広島県知事　　湯﨑 英彦
広島市長　　松井 一實

C7 サミット活動報告
Civil 7 Steering Committee Members・Working Group Coordinators
外務省 国際協力局　審議官　　日下部 英紀

ペースノートスピーチ
「辺野古」県民投票の会 元代表／一橋大学大学院 法学研究科博士課程　　元山 仁士郎
一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN　代表　　能條 桃子

共催団体挨拶
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム　共同代表理事　　上島 安裕

12:30～14:00　ランチセッション　／　会場：フェニックスホール
※オンライン配信（zoom）・日英通訳・手話通訳・予約筆記あり

紙芝居「原爆の子 さだ子の願い」　　安芸府中高校 折り鶴プロジェクト有志
「平和の音楽と映像を通して核兵器廃絶を訴える」　　木本いず美 YAMATO

14:30～17:00　分科会

Day2　4月17日（月）

9:30～12:00　分科会

12:00～14:00　ランチセッション　／　会場：ヒマワリ

14:00～17:00　クロージングセッション　／　会場：ヒマワリ
※オンライン配信（zoom）・日英通訳・手話通訳・予約筆記あり

分科会報告 & 全員参加型ディスカッション
みんなの市民サミット 2023 共同宣言
閉会挨拶

分科会　Breakout Session

日	NO	テーマ	会　場
4月16日（日）	1	C7 核廃絶 WG 国際コーディネーターと 国内コーディネーターによる政策提言への道のり	メモリアルホール 広島平和記念資料館 東館 地下１階
	2	『気候変動の現在地』気候学者 江守正多さん講演会と 350Japan みんなの温暖化会議	おりづるタワー ５階 大会議室
	3	「ヒロシマの孫たち」上映会 & 子どもたちからのメッセージ	おりづるタワー ３階 第３会議室
	4	日本の子育て 海外の子育て	※オンライン開催
	5	もうひとつのサミット ～G7 の方向性、そっちで大丈夫そ？～	ダリア１
	6	Youth Summit 2023 in 広島 ～Redefine our future through sustainability～	コスモス１
	7	シリア大地震の被災者が直面する「三重苦」と届ける希望 ～紛争・制裁・そして震災～	コスモス２
	8	新型コロナが映すいのちの格差 Ⅰ知的財産権が生む不平等　Ⅱ認知症の人に起こったこと	ラン１
	9	地球一周の旅から見えてくる SDGs ～ミツバチワークショップ～	ラン２
4月17日（月）	10	世界のヒバクシャとつながろう ～世界の核被害者の援助と国際協力を見据えて～	メモリアルホール 広島平和記念資料館 東館 地下１階
	11	公共調達における社会責任調達を推進するために	ダリア１
	12	気候正義と平和：G7 に反映されない声はどこに	ダリア２
	13	カードゲームを通して SDGs を考える ～企業・自治体・地域のつながり～	コスモス１
	14	見過ごされた歴史 － Hiroshima’ s Overlooked History	コスモス２
	15	地域のつながりが災害を乗り越える力！ ～広島からこれからの防災を考える～	ラン１
	16	『ラリー』と『ロビイング』のあいだで ～市民社会と G７の関わりを問い直す～	ラン２
	17	日本における格差の原因と正体を探る ～NPO・市民活動の現場からの考察～	会議運営事務室５・６

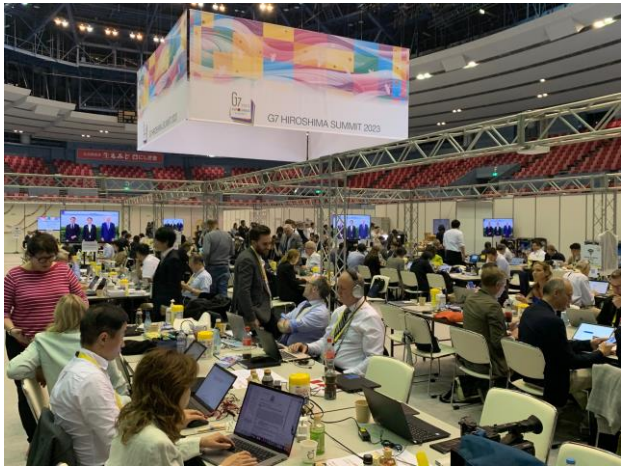
交流タイム　Mingling & Networking

日　時	テーマ	会場
4/16(日) 12:00～17:00	「W7 サミット 2023」オンライン上映 4 月 16 日（日）に東京で開催する Women7 サミット 2023 のオンライン配信を上映します。	サクラ
4/16(日) 12:30～17:00	みんなのこえ写（みんこえ）　ソー写ルグッド株式会社 市民の「こえ（声）」を写真で可視化するプロジェクト、撮影コーナーにて参加ください。VR 空間での展示や交流も楽しむことができます。	
4/17(月) 9:30～17:00	参加者同士の情報交流コーナー 情報展示スペースは、団体や活動を紹介する資料の配架や情報収集に活用いただくことができます。	

11. 首脳会合に向けた活動

NGO・NPO Presents
G7広島サミットに向けた記者会見・イベント・アクションの開催

【日　時】2023年5月18日(木)～21日(日)／9:00～21:00
【場　所】NGOスペース（広島市中区基町5-61 広島市青少年センター）



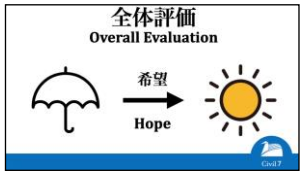
＊4日間で27の記者会見、13のイベント、11のアクションを開催
＊エンゲージメントグループとして、国際メディアセンター（IMC）の
アクセスパスを68枚取得（C7：38、T7：5、W7：10、Y7：15）

※期間中のプログラムの詳細は、「G7市民社会コアリション2023」の
Webサイト及び別紙プレスリリース資料を参照

https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/2023g7-ngospace

11. 首脳会合に向けた活動

C7によるG7広島サミット首脳コミュニケの評価



○ 被爆者や核兵器禁止条約についての言及はなく、自分たちの核兵器を「防衛目的」また「抑止目的」として正当化している。
○「脆弱なグループのレジリエンス強化支援を拡大し続ける」ことや「最も脆弱な国々に損失と損害を回避・最小化・対処するための支援を拡大する」ことへの言及はあったが、化石燃料等についての記述が不十分である。
○「経済安全保障」が強調され、債務再編のための具体的コミットがない。
○ 知的財産権に対処できず、国際保健分野での資金・技術の貢献もない。
○ 食糧危機を含む人道危機への210億ドルの支援表明を評価するも、人道支援の実施に不可欠な「現地関係者や現地のリーダーシップ強化」についての言及がない。
○ 世界的に問題視されている「縮小する市民社会スペース」に対して、G7が何も政治的意思を示しておらず、民主主義に関する議論ではほとんどが他国との情報戦の話になっていた。

12. G7市民社会コアリション2023の活動総括

総会＆オープンフォーラム

2023年12月15日（金）開催
G7市民社会コアリション2023総会＆オープンフォーラム＋みんなの市民サミット振り返り会議「市民社会の歩みは続く」

https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/231215-event-report

活動報告書

G7市民社会コアリション2023活動報告書

https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/231221-report

13. 成果と課題

今回の成果

○「市民の伊勢志摩サミット（2016年）」や「G20大阪市民サミット（2019年）」等からの継承、蓄積した知見やネットワークの活用

○G7エウマウサミット（2022年）のC7政策提言の引き継ぎ

○国内のNGO/NPOの連帯によるプラットフォーム「G7市民社会コアリション2023」

○日本初のC7の運営とC7政策提言書2023（72ヶ国・700名、包摂・多様性）

○外務省国際協力局民間援助連携室及び関係部署・機関との協力関係
（G7シェルパ・サブシェルパとの対話、官邸訪問、C7サミット、みんなの市民サミット、NGOスペース）

○エンゲージメントグループとの連携（記者会見、共同声明、イベント共催、P7の新設）

○閣僚大臣会合に対する各地CSOとの連携（政策提言、市民参加のためのイベント）

○首脳会合開催地の特性を活かした市民活動（C7核兵器廃絶ワーキンググループ、みんなの市民サミット、SDGs折り鶴プロジェクト、市民の平和宣言2023）

○マスコミやSNS等を通じた発信（取材報道、記者会見、国際メディアセンター、NGOスペース、Webサイト、Facebook、Instagram、動画）

13. 成果と課題

今後の課題

◇議長国・日本政府との対話プロセスや連携（G7シェルパ、G7サミットの主要議題の公開のタイミング、公式Webサイトのエネゲージメントグループの掲載情報、エンゲージメントグループ間の対応の格差、国際メディアセンター内における扱い）

◇政策提言プロセスの積み上げ（閣僚大臣会合や首脳会合への政策提案力、2024年G7イタリア開催への引き継ぎ、Continue the Process）

◇G7サミット全体（国際社会におけるG7の存在意義や役割、政治のための政治、政治的基盤の確立のための地方開催、開催時期、市民の行動に対する抑圧）

◇市民社会の力量（C7の認知度、海外との言語コミュニケーション、情報保障、グローバルとローカルにおける社会課題の論点、ミャンマー・ウイグル・チベット・カザフスタン等の少数派の市民の擁護）

◇日本の市民社会の成長（コアリションの後継活動、対話と政策提言の一般化・普遍化、推進体制の仕組み・予算・日常化、G7・G20以外の国際会合や政治地図の整理、2030年のG7日本開催への備え、国際議論からの地域実践活動の後押し）

⇒12/15(金)に開催したG7市民社会コアリション2023の総会オープンフォーラムにて、7年後に向けた後継組織の活動を提起した。今後、コアリション幹事団体（JANC、ひろしまNPOセンターなど）が中心となって呼びかけ、体制構築や活動展開する。※G7イタリア・C7 2024に関する情報交換会を3月に予定。

⇒外務省・G7シェルパとの対話・連携が不可欠！

14. 補足情報

G7広島サミットを通じて蓄積した知見・ネットワークが、既にその他の国際会合に活かされ、市民社会を含む公益に繋がっている。

ご清聴ありがとうございました

＜連絡先＞
特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター（松原裕樹）
〒730-0031　広島市中区紙屋町1丁目6-1
紙屋町ガレリア303号室
TEL：(082) 258-1348　FAX：(082) 258-1349
HP ：http://npoc.or.jp/
E-mail ：matsubara@npoc.or.jp